

超精密とメカトロメーション®を追求する

Seibu

2026年3月期 決算説明会

西部電機株式会社

(東証スタンダード・福証 証券コード6144)

会社概要

(2026年3月31日現在)

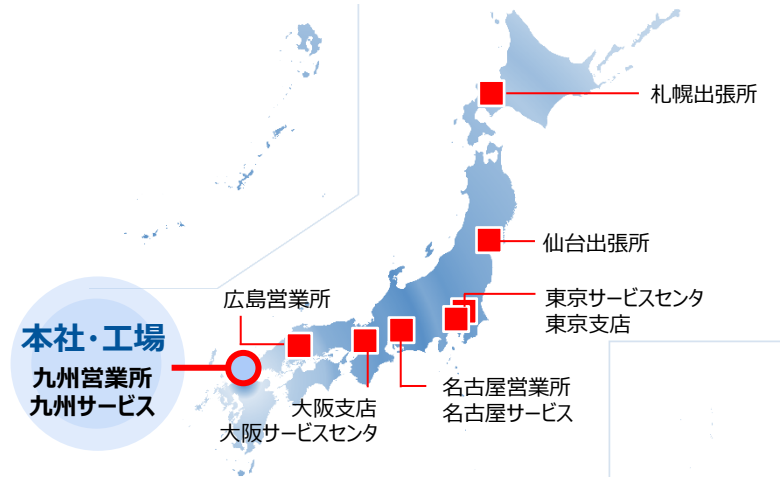
商号	西部電機株式会社 Seibu Electric & Machinery Co.,Ltd.
証券コード	6144
上場	東証 スタンダード市場 (2006年 東証2部上場) 福証 (1986年 上場)
本社	福岡県古賀市駅東3-3-1
創業	1927年1月
資本金	26億58百万円
発行済株数	15,160千株
時価総額	431億90百万円 (2026年5月29日現在)
売上高	392億65百万円 (2026年3月期: 連結)
従業員	681名 (連結) 620名 (単体)
グループ会社	西電興産株式会社、株式会社西部ハイテック、 西部ペイント株式会社、Seibu America Corporation
HPアドレス	https://www.seibudenki.co.jp

西部電機の歩み

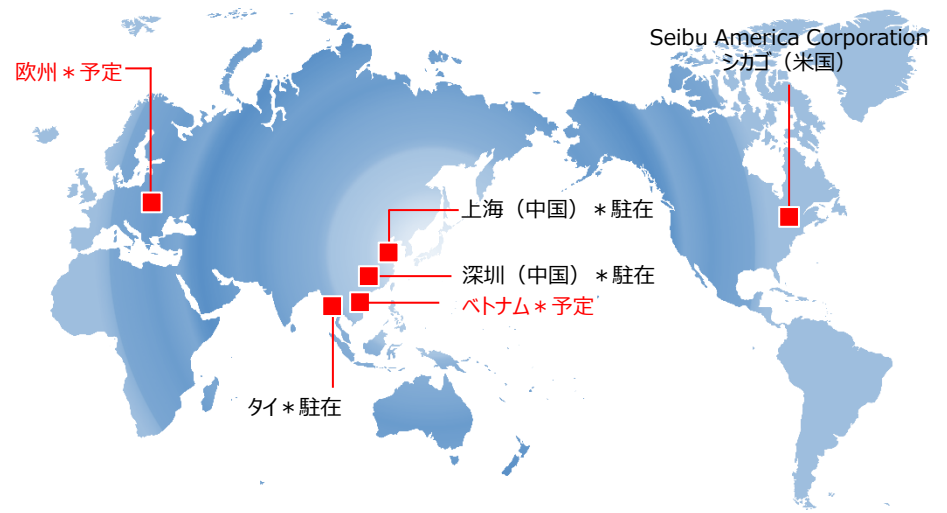
1927年に創業した西部電機 一つひとつの「軌跡」が未来を創造しています

- 1927年（昭和2） 東邦電力(現 九州電力(株))の電気機械工場であった東邦電機
工作所九州工場を引き継ぎ、西部電気工業所を創業
電気機械器具(変圧器・モータ・発電機)、電気計器の製造・修理
を開始
- 1939年（昭和14） 西部電機工業株式会社に改組（設立）
- 1945年（昭和20） 福岡県糟屋郡古賀町（現 福岡県古賀市）に移転
- 1954年（昭和29） バルブコントロール製造販売開始（産業機械事業スタート）
- 1959年（昭和34） 工作機械（旋盤）の製造販売開始（精密機械事業スタート）
- 1966年（昭和41） 立体自動倉庫第1号機完成（搬送機械事業スタート）
- 1972年（昭和47） 世界初のCNC方式ワイヤ放電加工機を開発
- 1986年（昭和61） 西部電機株式会社に社名変更 福岡証券取引所に上場
- 1991年（平成3） 事業部制導入
- 2006年（平成18） 東京証券取引所市場第二部に上場
- 2007年（平成19） 本社社屋、新工場竣工
- 2012年（平成24） 株式会社豊田自動織機と業務・資本提携締結
- 2018年（平成30） タイにてバルブコントロールのストック販売を開始
- 2024年（令和6） 米国に合弁会社「Seibu America Corporation」設立
- 2024年（令和6） ワイヤ放電加工機の需要増に伴い新精密工場兼事務所棟を竣工

国内拠点図



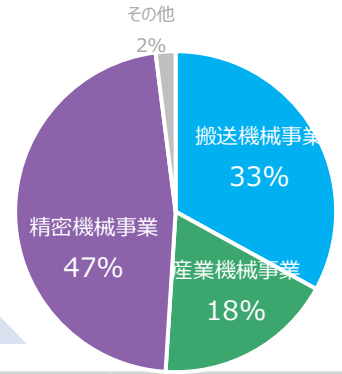
海外拠点図




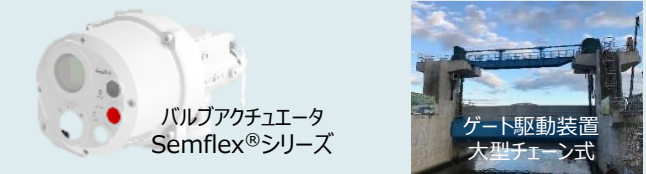

● 2027年（令和9） 創業100周年 Anniversary

西部電機は、搬送機械・産業機械・精密機械を主力に「超精密とメカトロメーション[®]」を追求する総合メカトロニクスメーカーです

基本構想から設計・製造・アフターサービスといったプロセスをワンストップで提供しています



事業セグメント別
売上高構成比 (2025年度)

事業	主力製品	特徴	価値提供領域	主な納入先
搬送機械事業	<ul style="list-style-type: none"> 立体自動倉庫 FMSシステム ケース自動ピッキングシステム 搬送・ハンドリングシステム ロボティクス・マテハン[®] 	コンパクトで経済的なシステムを構築できる当社独自の技術力と、ソフトウェアを組み合わせた「総合物流ソリューション」を提案	<p>省人化・省スペース化・省エネ (CO2削減)、生産性向上・IoT・DX化、トレーサビリティ・誤配防止</p>  <p>物流システム 6軸ロボット</p>	<ul style="list-style-type: none"> 流通 電池・電機機器 運輸・倉庫・卸 機械 医薬・化学 食品
産業機械事業	<ul style="list-style-type: none"> バルブアクチュエータ ゲート駆動装置 バルブ・ゲート制御システム 	水・電気・ガス・石油などエネルギーを暮らしに導くため大切な役割を担うバルブアクチュエータとゲート駆動装置を提供	<p>省力化、省人化、省エネ化、環境保護、水害・洪水対策、省資源化、品質、コスト、納期及び保守・メンテナンス技術</p>  <p>バルブアクチュエータ Semflex[®]シリーズ ゲート駆動装置 大型チェーン式</p>	<ul style="list-style-type: none"> 官庁関係 (厚生労働省・国土交通省・防衛省・地方自治体) バルブ・ゲート 電機・重工・造船
精密機械事業	<ul style="list-style-type: none"> 超精密・高精密ワイヤ放電加工機 超精密ワイヤ放電加工機 (油仕様) 高精密小形NC旋盤 自由形状内面研削盤 	ピッチ加工精度で定評のワイヤ放電加工機、小物精密部品加工に応えるNC旋盤、自由形状加工を可能とした切削加工機などを開発	<p>高精度部品の生産、人件費削減</p>  <p>超精密ワイヤ放電加工機 高精密自由形状内面研削盤</p>	<ul style="list-style-type: none"> 精密金型 自動車・航空機 電子・電機 光学

AGENDA

01 2025年度 決算・2026年度 業績見通しのポイント

02 2025年度（2026年3月期）決算

03 2026年度（2027年3月期）見通し

04 中期経営計画（Seibu Vision 2027）の概要

05 ご参考

2025年度決算 2026年度業績見通しのポイント



2025年度決算・2026年度業績見通しのポイント

受注高・売上高・各損益とも過去最高

1

2025年度受注高は40,212百万円（前期比+10.8%）
2025年度売上高は全ての報告セグメントが増加し、39,265百万円（前期比+17.7%）
受注、売上ともに2期連続で**過去最高額を更新**

2

2025年度損益は、原材料・資源価格の高騰等に伴う適正な価格転嫁を進めたことや生産ラインの最適化による生産性向上等が寄与し、
営業利益は、4,195百万円（前期比+31.4%）
経常利益は、4,292百万円（前期比+31.2%）
親会社株主に帰属する当期純利益は、政策保有株式の売却等もあり、3,516百万円（前期比+49.6%）と、すべての損益において**過去最高益を確保**

3

2026年度売上高は、40,830百万円（2025年度比+4.0%）を計画
営業利益は4,370百万円（2025年度比+4.1%）
経常利益は4,410百万円（2025年度比+2.7%）
親会社株主に帰属する当期純利益は 3,000百万円（2025年度比△14.7%）を計画

4

2024年度から配当方針にDOE（連結純資産配当率）基準を採用
2025年度配当は84.0円（DOE3.9% 配当性向36.0%）を予定
2026年度配当は90.0円（DOE4.0% 配当性向45.1%）とする計画

2025年度（2026年3月期）決算



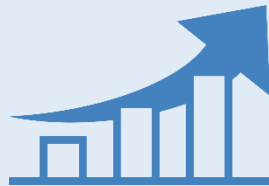
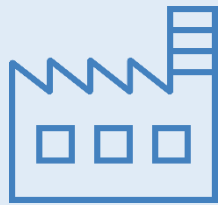
2025年度の経営環境

プラス要因

Positive Factor

国内外の需要が回復基調で推移

- 円安や原材料価格高騰に対応した価格適正化の進展
- 企業収益の改善

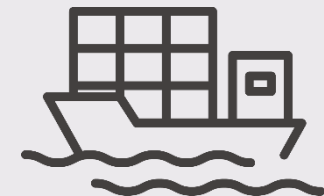
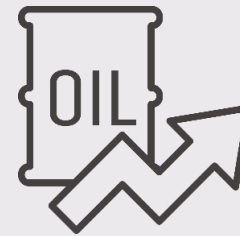


マイナス要因

Negative Factor

中東情勢の悪化など世界的なリスク要因

- 原油価格の高騰や物流の不安定化
- エネルギー・物資供給への懸念が高まり、幅広い業界に影響



当社グループの事業環境

- 物流業界を中心とした人手不足を背景に、自動化・省人化・業務効率化に対する需要は堅調
- 国土強靱化に関連するインフラ設備需要も底堅く推移
- 中国・ASEAN地域を中心とした外需においても堅調な需要水準を維持

連結業績

受注高・売上高・各損益とも過去最高

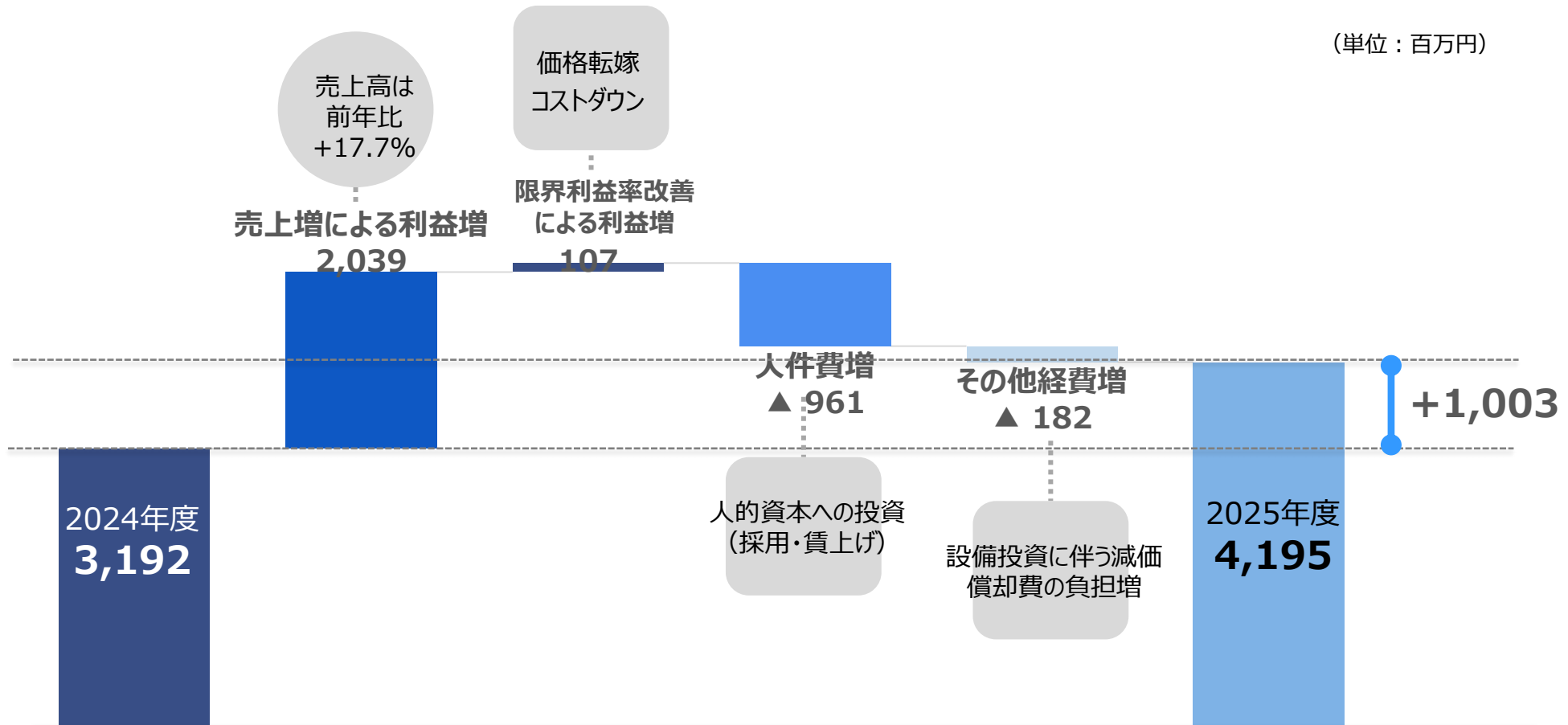
- **受注高** 精密機械事業と産業機械事業が増加
- **売上高** 全てのセグメントにおいて増加
- **損益** 原材料・資源価格の高騰等に伴う適正な価格転嫁を進めたことや生産ラインの最適化による生産性向上等が寄与し、すべての損益において増益、また、政策保有株式の売却益を計上したことで、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比49.6%増

(単位：百万円)

	2025年度	2024年度	前期比／差		2025年度公表値 (2025年7月31日)	公表差
受注高	40,212	36,305	+10.8%	+3,907		
売上高	39,265	33,352	+17.7%	+5,913	36,100	+8.8%
売上総利益（率）	11,715 (29.8%)	9,348 (28.0%)	+25.3%	+2,367		
販売費及び一般管理費	7,520	6,155	+22.2%	+1,365		
営業利益（率）	4,195 (10.7%)	3,192 (9.6%)	+31.4%	+1,003	3,500 (9.7%)	+19.9%
経常利益（率）	4,292 (10.9%)	3,271 (9.8%)	+31.2%	+1,021	3,590 (9.9%)	+19.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	3,516 (9.0%)	2,350 (7.0%)	+49.6%	+1,166	2,820 (7.8%)	+24.7%
EPS	233.12円	155.61円	－	+77.51円	186.67円	+24.9%
ROE	10.9%	7.7%	－	+3.2P		

営業利益増減要因

- 2024年9月に竣工した新工場の本格的稼働や生産ラインの最適化により生産性向上等が寄与し、売上増
- 原材料・資源価格の高騰等の中、適正な価格転嫁やコストダウンが進展し、限界利益率は改善
- 経営基盤強化を目的とした人的資本への投資により、人件費は増加
- 新ERPシステムの導入や新工場建設、機械設備などの投資に伴う減価償却費増により、その他経費増



連結業績 セグメント別

搬送機械事業

- 物流業界における構造的な人手不足や、半導体関連市場の需要拡大を背景に、自動化・省人化ソリューションへのニーズが引き続き高水準で推移
- 食品物流、自動車部品、半導体関連、ハウスメーカー向けなど、幅広い産業分野での案件獲得が進展

産業機械事業

- バルブアクチュエータ国内シェアNo.1の強みを生かし、民間分野における新規需要の掘り起こしを進めるとともに、手動水門の電動化・自動化による減災・防災および省力化対策に対応した製品開発を推進し、さらにサービス・メンテナンス事業にも注力
- 上水道分野においては大口メンテナンス案件の成約が進展したほか、減災・防災対策製品および護衛艦向け製品の納入が順調に推移

精密機械事業

- 米国による関税引き上げや中国経済の低迷が懸念されたものの、生成AI関連投資の拡大を背景に、半導体市場向け、データセンター向け、電気自動車関連分野における需要は堅調に推移
- 生産体制の強化に向けて、新工場における自動化・DX化を推進した結果、生産能力が一段と向上し、増加する需要に対して安定的な供給体制を確立

(単位：百万円)

	受注高	前期比
搬送機械事業	12,179	△12.5%
産業機械事業	8,096	+16.8%
精密機械事業	19,120	+27.1%
その他/消去・調整	816	+100.3%
連結決算	40,212	+10.8%

	売上高	前期比	公表差
搬送機械事業	13,195	+17.6%	+7.3%
産業機械事業	6,993	+5.2%	△1.9%
精密機械事業	18,300	+21.5%	+13.0%
その他/消去・調整	776	+85.7%	-
連結決算	39,265	+17.7%	+8.8%

	営業利益	前期比	公表差
搬送機械事業	1,142	+10.3%	△12.2%
産業機械事業	1,011	+4.8%	+3.2%
精密機械事業	2,019	+80.1%	+27.0%
その他/消去・調整	23	△67.1%	-
連結決算	4,195	+31.4%	+19.9%

貸借対照表

(単位：百万円)

	2025年3月末	2026年3月末	前年度末比
現金及び預金	8,436	10,100	+1,664
売上債権	10,873	10,449	△ 424
棚卸資産	3,883	4,915	+1,032
有形固定資産	14,967	14,851	△ 116
投資有価証券	5,571	6,117	+546
その他資産	2,681	3,291	+610
資産 計	46,411	49,723	+3,312
仕入債務	6,734	6,042	△ 692
借入金	416	416	+0
その他負債	8,466	9,553	+1,087
負債 計	15,616	16,011	+395
純資産 計	30,794	33,711	+2,917
1株当たり純資産	2,038.43円	2,243.01円	+204.58円
自己資本比率	66.4%	67.8%	+1.4P
ネットキャッシュ	8,020	9,684	+1,664

キャッシュフロー計算書

(単位：百万円)

	2024年度	2025年度	前年度比
営業活動によるキャッシュ・フロー	541	3,451	+2,910
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,063	△ 257	+2,806
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 976	△ 1,530	△ 554
フリーキャッシュ・フロー	△ 2,522	3,194	+5,716

- ✓ 前年度に実施した支払方法の見直し及び2023年度末日休日の影響により、2025年度は前年度と比較して、営業キャッシュフローが増加しております
- ✓ 2025年度は、政策保有株式の売却等の影響により、投資キャッシュフローが増加しております

2026年度（2027年3月期）見通し



経営環境

企業収益の改善や設備投資の増加を背景に回復の動きが広がると期待一方、中東情勢の緊迫化による原油価格の高騰・資源供給への影響や地政学リスクの高まりなど、外部環境の変動リスクが懸念材料

事業	セグメント別の課題	実施方策
搬送機械事業	EC市場拡大をはじめとする物流の小口・多頻度化による労働力不足の深刻化	ロボティクス・マテハン®を中核とした自動化・省力化ソリューションの提案強化
	サービス事業の充実、顧客満足度の向上	定期的な点検・整備・更新改造提案と予防保全・予知保全の推進
産業機械事業	災害の激甚化による設備の更新需要の増加	遠隔監視・操作システムなどのDX化製品の拡販
	民需市場における市場変化への対応	脱炭素・カーボンニュートラルへ対応した製品開発・市場投入
精密機械事業	海外市場（AI半導体・データセンター、ロボット関連）の需要拡大	北米・ASEAN・欧州市場における営業・サービス強化
	拡販へ向けた増産対応	生産設備の自動化、DX推進などによる生産効率向上



持続可能な社会、環境の構築に貢献し、社会的価値と経済的価値の創出を実現する
グローバル・ニッチ企業を目指してまいります

2026年度業績見通し

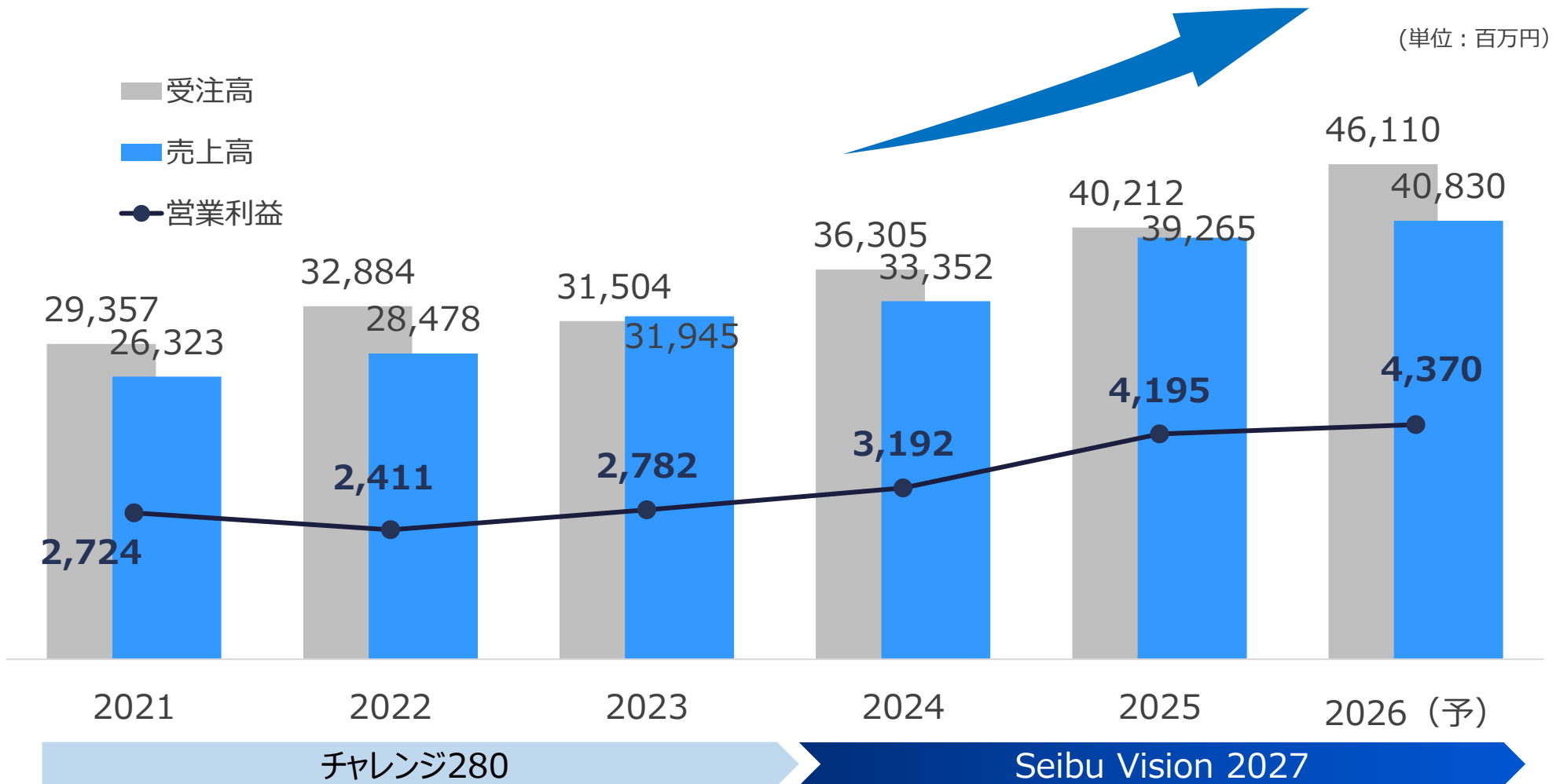
- 物流業界を中心とした人手不足を背景に、自動化・省人化・業務効率化に対する需要や、国土強靱化に関連するインフラ設備需要も底堅く推移し、中国・ASEAN地域を中心とした外需においても堅調な需要水準が維持されると期待
- 中東情勢の不安定化に伴うサプライチェーンへの影響や、原材料価格の変動および輸送コストの上昇などもリスクと認識
様々な影響を最小化できるよう取り組んでいく
- 海外向けを中心とした精密機械、防衛・国土強靱化に対応した産業機械、今後さらに成長が期待される搬送機械の自動化需要を取り込み、ソリューション提案やサービス・メンテナンスへの注力により、受注高・売上高は過去最高を見込む。

(単位：百万円)

	2026年度 見通し	2025年度 実績	前期比／差	
受注高	46,110	40,212	+14.7%	+5,898
売上高	40,830	39,265	+4.0%	+1,565
営業利益（率）	4,370（10.7%）	4,195（10.7%）	+4.2%	+175
経常利益（率）	4,410（10.8%）	4,292（10.9%）	+2.7%	+118
親会社株主に帰属する当期純利益（率）	3,000（7.3%）	3,516（9.0%）	△14.7%	△ 516
EPS	199.60円	233.12円	－	△ 33.52円
ROE	8.7%	10.9%	－	△ 2.2P

連結業績 受注高・売上高・営業利益推移

- 2025年度は期首計画を上回り、受注・売上・営業利益とも過去最高
- 2026年度においても、更なる上積み計画



2026年度業績見通し（セグメント別）

搬送機械事業

- ロボティクス・マテハン®を中核とした自動化・省力化ソリューションの開発を一層強化し、自動化システムの提案活動を積極的に推進
- 国内市場に加えて成長が期待される東南アジア地域への販売体制を強化し、海外展開を通じた受注拡大を図る
- サービスメンテナンスの強化

産業機械事業

- 農業用水路などの灌漑設備においても省力化ニーズが拡大しており、これらの課題に対応した電動ギヤラック式水門開閉装置「Semflex® -LR30S」や遠隔監視・操作システム「S³CON®」などのDX化製品への引き合いが好調に推移
- 市場環境の変化に柔軟に応じた製品開発を推進することで、社会インフラの安全性向上と効率化に貢献
- サービスメンテナンスの強化

精密機械事業

- 中国における景気低迷が続く一方、AI半導体やデータセンター、ロボット関連などにおける当社製品に対する需要は堅調に推移
- 欧州においても販路開拓と営業活動の強化を進めており、北米、東南アジア地域と同様に中国以外の地域の拡販強化を図る
- 生産体制では、新工場の建設およびDX推進により従来比1.5倍の生産能力を達成しており、今後もさらなる増産体制の整備を進める

(単位：百万円)

		2026年度 見通し	2025年度 実績	前期比／差	
搬送機械事業	売上高	13,400	13,195	+1.6%	+205
	営業利益(率)	1,340 (10.0%)	1,142 (8.7%)	+17.3%	+198
産業機械事業	売上高	7,400	6,993	+5.8%	+407
	営業利益(率)	1,100 (14.9%)	1,011 (14.5%)	+8.8%	+89
精密機械事業	売上高	19,450	18,300	+6.3%	+1,150
	営業利益(率)	2,150 (11.1%)	2,019 (11.0%)	+6.5%	+131

事業戦略 ① 搬送機械事業

■ 顧客ニーズを的確に捉えた『生産性向上マテハンソリューション』を提供

基本戦略

- ① 従来型自動倉庫の採算性向上とターゲット市場の開拓
(流通、電池・電機、半導体、機械、薬粧、食品)
- ② ロボティクス・マテハン®ソリューションの提案力強化で販売拡大
- ③ 提案型営業・サービスによる拡販と海外拠点の確立

当社の強み

- オンリーワン商品により、物流・倉庫管理分野で独自のソリューションを提供
- トータルシステムソリューション（提案開発～製造・工事～サービス）をワンストップで提供できる体制
- 多様な製品ラインナップ・特殊仕様対応への実績多数
- ロイヤルカスタマからのリピート多数

■ ロボティクス・マテハン (カゴ車積み付けシステム)



2027年度目標

トータルソリューション
(ロボティクス・マテハン®)

+100%*

生産能力

+40%*

サービス事業売上

+25%*

海外売上比率

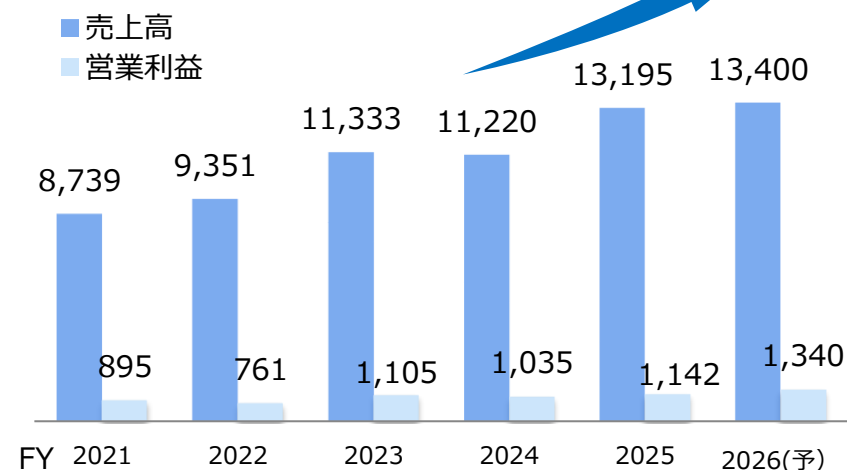
10%以上

*.2023年度対比

重点施策

- 従来型自動倉庫は特殊クレーンのシェアアップ
- ロボティクス・マテハン®による小売業向けソリューションシステムの構築・提案
- 点検・整備・更新改造案件の提案強化、予防保全・予知保全の推進、海外サービス体制の強化
- 商社、エンジニアリング会社と連携した海外展開
- 最新技術を駆使したマーケットインを基本としたオンリーワン製品の開発

(単位：百万円)



事業戦略 ② 産業機械事業

『流体制御インフラの高度化』を実現する持続的イノベーションの提供

- 基本戦略
- ① 脱炭素化及び国土強靱化に対応した商品開発
 - ② 保守・メンテナンス事業拡販のためストックビジネスを強化
 - ③ 海外販売・生産拠点の確立

- 当社の強み
- バルブ・ゲートに関する深い情報網、バルブアクチュエータは国内シェアNo.1
 - 増加傾向にある防衛省艦船向け納入実績
 - 独立電源モジュール（ソーラー＋バッテリー）駆動、遠隔監視・操作（監視カメラ＋スマホ or タブレット）技術の保有
 - 多様な製品群の所有、システムおよびユニットの対応が可能
 - 国内向け上下水道およびゲート市場で多くの納入実績を保有

■ 脱炭素市場向け 水素防爆（Exd II CT4Gb）認定取得 バルブアクチュエータ



VMM-01TC



VMM-01ZTC

2027年度目標

国内公共案件
シェア比率
80%を維持

民需バルブ売上
+40%*

サービス事業売上
+17%*

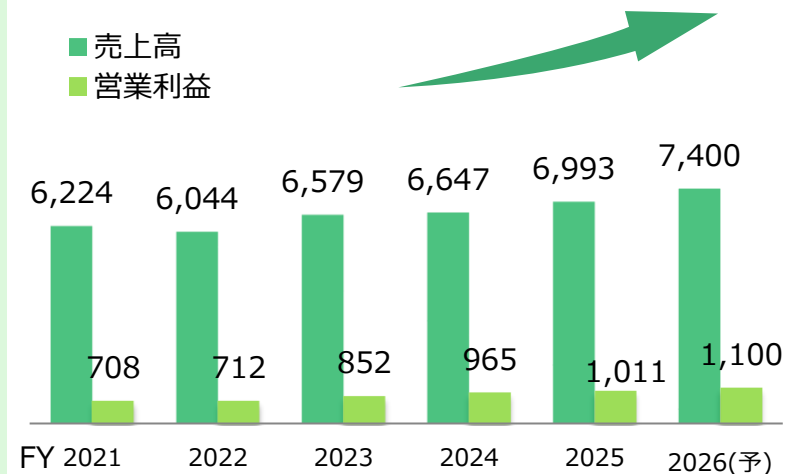
海外売上比率
7%以上

*.2023年度対比

重点施策

- 減災・防災および省力化対策として、電動化及び遠隔監視・操作システムの提案促進（SBS+S、S³CON[®]）
- AI需要に伴う設備の自動化、水素導入に向けたインフラ設備をターゲットに、水素防爆製品やシステム提案の促進、販路拡大
- ゲート開閉機の電動化提案促進、巡回サービスの強化
- 現地商社との連携によるタイ・ベトナム・インドの市場開拓・販売戦略
- バルブアクチュエータ(Semflex[®] WXシリーズ)開発
- NEWゲート駆動装置 (LPXシリーズ)開発

(単位：百万円)



事業戦略 ③ 精密機械事業

■ ハイテク産業を支える『超精密加工ソリューション』を提供

基本戦略

- ① ターゲット地域へ販売戦略を展開し、中国一極集中からの脱却
- ② 成長分野向け新製品の開発、新システム開発のスピードアップ
- ③ 品質、保守、技術サポートの充実、販売店強化確立

当社の強み

- ソフト開発の内製化
- 中華圏では、超精密加工技術と信頼性に高い評価
- 超精密加工技術と信頼性における市場優位性
- 顧客接点を外部委託せず、現場ニーズを製造・開発に連携
- 自動化、省人化ソリューションを展開するマテハン事業部との相互連携

■ 油仕様ワイヤ放電加工機M35LPにスケジューラを装備した自動化パッケージ



2027年度目標

生産能力

+50%*

上位機種生産能力

+100%*

成長産業向け
ソリューション

+10%*

中華圏以外の
海外売上比率

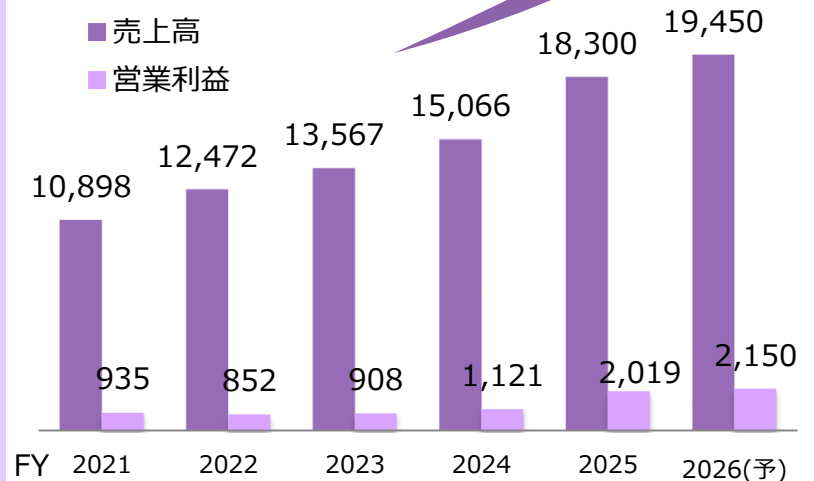
20%以上

*.2023年度対比

重点施策

- ASEAN（ベトナム・タイ）、欧州（イタリア・ドイツ・東欧など）の市場開拓・展開
- 中華圏の新市場の開拓・上位機種種の拡販
- 米国合併会社（Seibu America）の販売網構築と拡販
- 自動化パッケージのPR促進
- 超高精度機への挑戦、SFG新機能開発
- 自動化・DX化による生産効率向上（増産対応）

(単位：百万円)



設備投資・研究開発費・減価償却費

● 設備投資

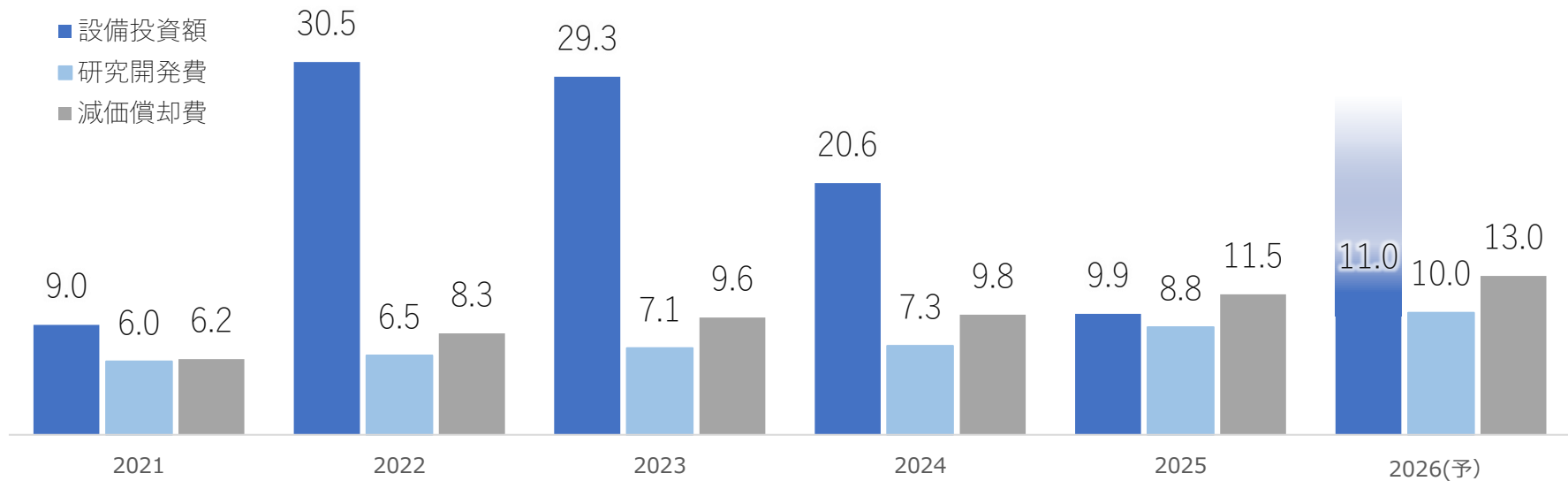
増産体制の構築や自動化設備の導入、既存生産設備の更新など
さらに、SV2027達成に向けて、**必要な投資の上積みも検討**

● 研究開発費

市場や顧客ニーズに的確に応えるため、ターゲットを絞った研究開発を強化するとともに、中長期的な視点に立った開発計画を推進

● 減価償却費

新工場の竣工をはじめ、生産設備の増強やERPシステムの更新など、積極的な設備投資を進めていることから、関連費用は増加の見込み
(単位：億円)



チャレンジ280

Seibu Vision 2027

株主還元

DOE4.0%を目安とし、2025年度期末配当は42円を予定しております。
2026年度は年間配当90円と予想しております。

2023年度までの配当政策

安定的な配当を継続して行うことを基本方針

配当性向 **30%**を目標



2024年度以降の配当政策

安定的な配当を継続して行うことを基本方針

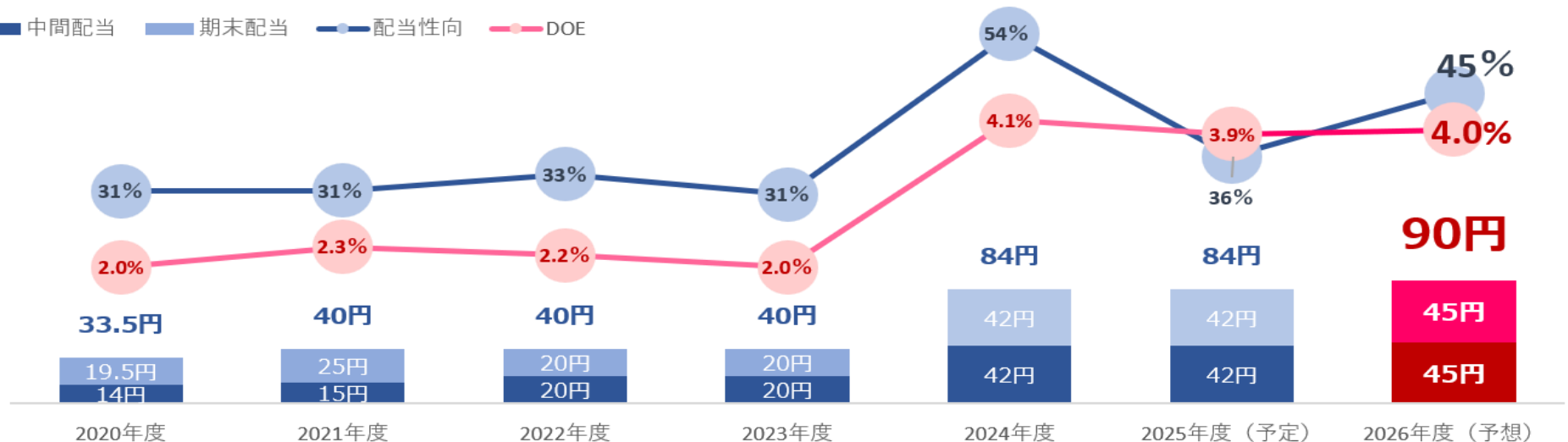
DOE*1
(連結純資産配当率) **4.0%**を目安

実績

2025年度
予定

2026年度
予想

■ 中間配当 ■ 期末配当 ● 配当性向 ● DOE



*1. 連結純資産配当率 = 1株あたり配当金 / 期末1株あたり連結純資産

中期経営計画 (Seibu Vision 2027) の概要



中期経営計画（Seibu Vision 2027）の概要 ①Seibu Vision 2027（SV2027）の遂行

SV2027の各施策を実行し、定量目標の達成を実現するとともに売上成長と収益性改善を軸としたROEの向上及び株主資本コストの抑制を図り、持続的な企業価値向上を目指します

SV2027の達成 / PBR向上・企業価値・株式価値の増大

SV2027
定量目標

400 億円
売上高

52 億円
営業利益

13 %
営業利益率

10 %
ROE

ROE10%の実現

SV2027の確実な遂行

営業利益・EPSの成長

- 2027年度売上400億円の達成
- 同、営業利益率13%の達成

バランスシート・マネジメント

- 資産収益性の向上
- レバレッジの活用
- 配当政策DOE4%方針の継続

SV2027
の取り組み

PERの拡大

創業100周年後の未来に向けて

長期的な成長戦略

- グローバル展開の遂行
- 新たな事業への挑戦

株主への情報発信強化

- コーポレートサイトの充実化による当社魅力の発信
- 積極的な情報開示

未来を輝かせ卓越の技術で人とつながる

Lead Tech Exploration

Seibu Vision
2027
スローガン

重点施策

事業戦略	財務戦略・経営基盤
<p>既存事業の収益性強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 標準化・生産性向上等によるコストダウン メンテナンス・サービス事業の強化 	<p>バランスシート・マネジメント</p> <ul style="list-style-type: none"> 資産収益性の向上 レバレッジの活用 株主還元方針の見直し
<p>グローバル展開の加速</p> <ul style="list-style-type: none"> ASEAN・北米・欧州市場の開拓加速 中華圏市場の維持 	<p>経営基盤の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> DX/スマートファクトリー化 ガバナンス 人材育成 サステナビリティ
<p>新領域への挑戦</p> <ul style="list-style-type: none"> 成長市場向けソリューションの開発 脱炭素市場への参入 	

Seibuが解決
に貢献する
社会課題



ご参考



「健康経営優良法人2026」に認定されました

健康宣言

西部電機では、社員一人ひとりが心身ともに健康で、生き活きと働ける職場づくりを目指し、健康経営に取り組んでいます。

メンタルヘルス対策や疾病予防の施策を進めるとともに、社員のワークエンゲージメント向上にも力を入れ、健康支援体制やサポートの充実を図っています。

社員とその家族が健康で明るく過ごせる環境を整え、地域社会や関連企業から信頼される企業であり続けるため、今後も健康経営を推進してまいります。



本資料における将来の予想等に関する各数値は、現時点で入手可能な情報に基づく当社の判断や仮定によるものであり、リスク及び不確実性が含まれております。したがって実際の業績等は、予想数値と異なる結果となる場合があります。

超精密とメカトロメーション®を追求する

Seibu

西部電機株式会社

東証スタンダード・福証（証券コード：6144）

〈お問い合わせ先〉 経営企画部

TEL：092-941-1500

FAX：092-941-1511

<https://www.seibudenki.co.jp/ir/>